

はじめに

本報告書は、文部科学省の平成29年度「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」により、広島大学が平成29年度に行った「教科教育モデルコアカリキュラムの策定事業」の成果をまとめたものである。

第1章では、本調査研究の背景、目的と成果及び内容が説明される。

第2章では、広島大学が開発した英語以外の教科教育モデルコアカリキュラムが説明される。まず、小学校各教科のコアカリキュラムに共通の枠組みとして「共通コアカリキュラム」が提案される。次に、「共通コアカリキュラム」を各教科で具体化した「各教科の指導法（2単位程度）」が説明される。さらに、「各教科に関する専門的事項(1単位程度)」が説明される。これらの教科教育モデルコアカリキュラムは、平成29年3月に公表された外国語（英語）コア・カリキュラムで用いられている枠組み、つまり、「全体目標」「一般目標」「学習項目」「到達目標」を用いている。

第3章では、我々の作成した教科教育モデルコアカリキュラムの内容や意図を広く理解していただくために、各教科の「各教科の指導法（2単位程度）」と「各教科に関する専門的事項(1単位程度)」の各到達目標について解説を掲載している。

第4章では、より汎用性を高めるために、各大学でシラバスを作成する際の参考資料として事例集を掲載している。

多くの方々に本報告書をご覧いただき、小学校教員養成における教科教育カリキュラムの作成にご活用いただければ幸いである。

文部科学省委託

教科教育モデルコアカリキュラムの策定事業

事業実施責任者

木原成一郎

